



2021年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月9日

上場会社名 株式会社 ティア
 コード番号 2485 URL <https://www.tear.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 (氏名) 富安 徳久
 (氏名) 辻 耕平
 TEL 052-918-8254

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績(2020年10月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	3,240	4.0	404	2.7	407	4.2	276	5.7
2020年9月期第1四半期	3,377	3.4	393	14.7	390	13.6	261	15.2

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 276百万円 (5.7%) 2020年9月期第1四半期 261百万円 (15.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	12.33	
2020年9月期第1四半期	11.66	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	13,636	8,980	65.9
2020年9月期	13,468	8,928	66.3

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 8,980百万円 2020年9月期 8,928百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		10.00		10.00	20.00
2021年9月期					
2021年9月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,080	8.9	330	56.0	315	57.7	180	64.3	8.03
通期	12,400	4.0	730	22.6	710	20.9	450	30.2	20.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期1Q	22,406,100 株	2020年9月期	22,406,100 株
期末自己株式数	2021年9月期1Q	1,470 株	2020年9月期	1,470 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期1Q	22,404,630 株	2020年9月期1Q	22,403,330 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記に記載した業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業を中心に輸出の持ち直しが見られるものの、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、対面型サービス消費の落ち込み、設備投資や雇用・所得の下押し等、厳しい状況となりました。また、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大と緊急事態宣言の再発令等、感染症の帰趨や、内外経済に与える影響の大きさ及び期間について不確実性が高く、先行きに対する不透明感は拭えない状況です。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々増加するものと推計されておりますが、核家族化や葬祭規模の縮小等により、葬儀単価の減少傾向が続いております。また、直近の業界環境といたしましては、葬儀件数は概ね前年同期と同水準で推移し、葬儀単価は新型コロナウイルス感染症の影響に伴う葬祭規模の縮小及び法要料理の販売減により、大きく低下しております。

かかる環境下、当社グループは顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人財教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、中長期目標200店舗体制の実現とその後の持続的な成長を目指すべく、当年度より新たに掲げております「新生ティア」のスローガンのもと、4項目のテーマを設け7つの戦略を推進してまいりました。新規出店の状況につきましては、直営は既存会館のリロケーションにより、愛知県内に「ティア西枇杷島」を開設し、これにより直営74店舗、フランチャイズ53店舗の合計127店舗となりました。

売上原価におきましては、労務費等が増加したものの葬儀付帯業務の内製化を推進し、経費面では中長期の出店を見据えた人材の確保や、TVCMとリアルイベントを連携した営業促進を実施する一方、野立て看板や業務内容の見直し、採用活動の内容変更等の経費削減を推進いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は32億40百万円（前年同期比4.0%減）となり、売上原価率は前年同期比と比べ0.8ポイント低下し、販売費及び一般管理費は前年同期比4.1%減となりました。これにより、営業利益は4億4百万円（同2.7%増）、経常利益では4億7百万円（同4.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億76百万円（同5.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 葬祭事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、新型コロナウイルス感染症の予防および拡散防止対策を講じつつ、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等に取り組んでまいりました。葬儀件数におきましては、既存店の件数が増加したのに加え、新たに開設した会館の稼働により、前年同期比10.9%増の3,207件となりました。葬儀単価におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により葬祭規模が縮小したのに加え、法要料理の販売が減少し、前年同期比12.2%減となりました。この結果、売上高は31億44百万円（同3.9%減）、営業利益は6億10百万円（同4.8%減）となりました。

(b) フランチャイズ事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、フランチャイズの会館が前年同期と比べ4店舗増加したものの、前年同期に計上した加盟料売上の反動減と、葬祭規模の縮小に伴うFC会館向けの物品売上が減少いたしました。この結果、売上高は95百万円（同8.8%減）、営業利益は14百万円（同33.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は38億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億23百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1億52百万円、売掛金が71百万円増加したことによるものであります。固定資産は97億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が41百万円、有形固定資産が12百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、136億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億67百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は28億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億90百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が2億13百万円増加したことによるものであります。固定負債は18億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が80百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、46億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億15百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は89億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2億76百万円および剰余金の配当2億24百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月11日に公表いたしました、「連結業績予想」「配当予想」に変更はございません。当社グループにおける、新型コロナウイルス感染症の影響は、2021年9月期上半期まで継続し、下半期以降は改善するものと予想しております。この前提による業績予想につきましては、以下のとおりであります。

葬祭事業における葬儀単価は、新型コロナウイルス感染症の影響により低下を見込む一方、葬儀件数は既存会館が堅調に推移する見通しに加え、新店の稼働により増加を予想しております。また、フランチャイズ事業におきましては、新規クライアントの開発を積極的に行うとともに、FC会館向け物品販売の拡大を図ってまいります。経費面では葬儀付帯業務の内製化による商品原価率の低減や、業務内容や固定費の見直しといった経費削減を推進する一方で、「新店稼働に伴う固定費」「中長期の出店を見据えた人材確保」等を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,063	3,216
売掛金	337	408
商品	46	59
貯蔵品	48	51
その他	160	144
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	3,653	3,877
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,284	6,317
土地	1,516	1,516
その他(純額)	616	569
有形固定資産合計	8,416	8,404
無形固定資産	50	48
投資その他の資産		
差入保証金	899	896
その他	456	417
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	1,347	1,305
固定資産合計	9,814	9,758
資産合計	13,468	13,636
負債の部		
流動負債		
買掛金	278	330
短期借入金	882	1,095
1年内返済予定の長期借入金	424	395
未払法人税等	74	116
賞与引当金	195	101
資産除去債務	9	9
その他	792	798
流動負債合計	2,656	2,846
固定負債		
長期借入金	845	765
役員退職慰労引当金	0	0
資産除去債務	648	660
その他	389	382
固定負債合計	1,884	1,808
負債合計	4,540	4,655
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,873	1,873
資本剰余金	1,506	1,506
利益剰余金	5,548	5,600
自己株式	△0	△0
株主資本合計	8,928	8,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
純資産合計	8,928	8,980
負債純資産合計	13,468	13,636

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	3,377	3,240
売上原価	2,002	1,895
売上総利益	1,375	1,345
販売費及び一般管理費	981	941
営業利益	393	404
営業外収益		
受取利息	1	0
広告料収入	3	4
その他	2	4
営業外収益合計	6	10
営業外費用		
支払利息	6	6
和解金	3	—
その他	0	0
営業外費用合計	10	7
経常利益	390	407
税金等調整前四半期純利益	390	407
法人税、住民税及び事業税	78	96
法人税等調整額	51	34
法人税等合計	129	130
四半期純利益	261	276
親会社株主に帰属する四半期純利益	261	276

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	261	276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
その他の包括利益合計	0	△0
四半期包括利益	261	276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	261	276
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,272	105	3,377	—	3,377
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	3,272	105	3,377	△0	3,377
セグメント利益	640	22	663	△269	393

(注) 1. セグメント利益の調整額△269百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△269百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,144	95	3,240	—	3,240
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	3,144	95	3,240	△0	3,240
セグメント利益	610	14	624	△220	404

(注) 1. セグメント利益の調整額△220百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△220百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。